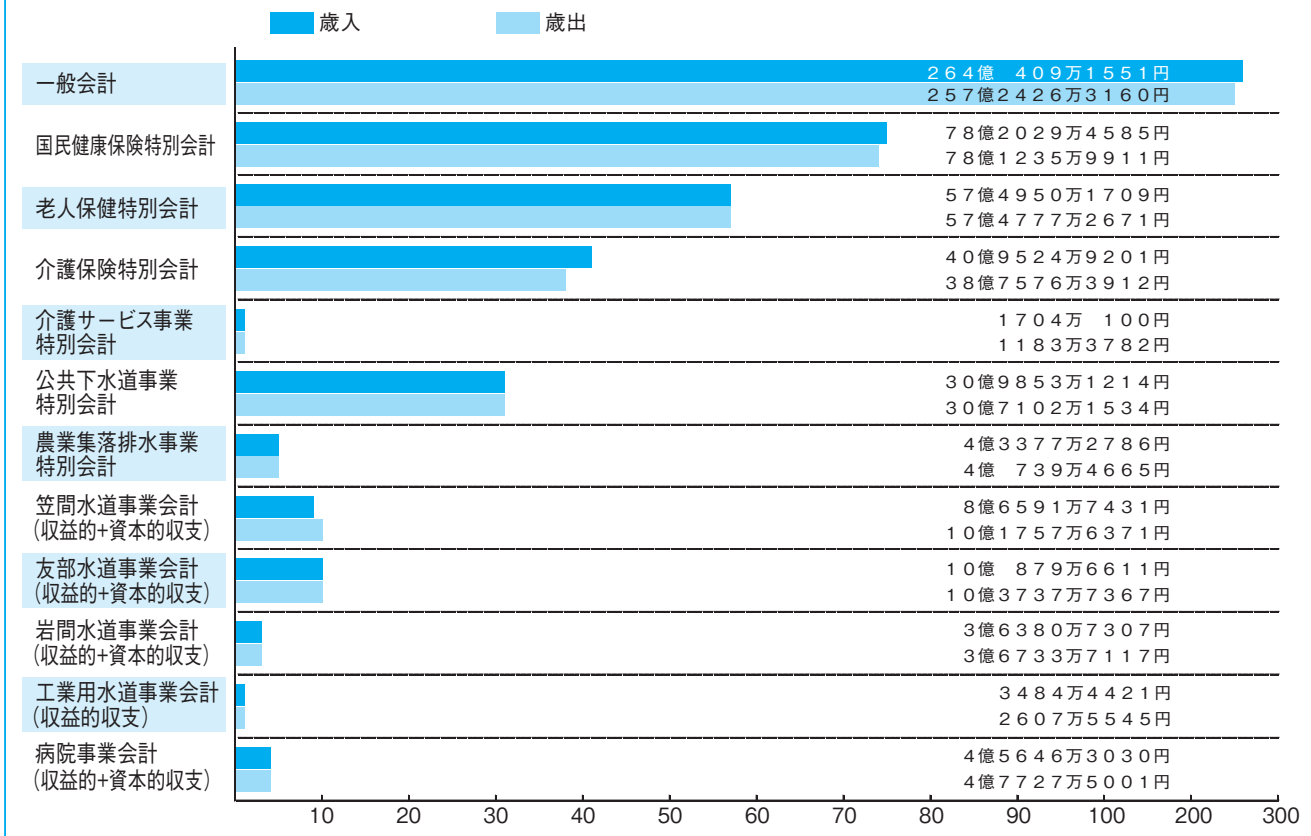


19年度決算認定議案を決算特別委員会で審査しました。

一般会計をはじめとする平成19年度の笠間市全12会計の決算が、決算特別委員会で慎重に審査されました。各会計の決算額、決算特別委員会での審査内容は、次のとおりとなっています。

平成19年度各会計決算の状況



決算特別委員会審査内容

●開催日9月9、10、11日

●主な質疑事項について

【一般会計】

基金の運用形態、市有財産の増減、収入未済額の状況、コンビニ納付の状況、補助金や扶助費などの不要額が多い理由、収納改善の取り組み、農道整備の箇所、給食配送業務委託契約の内容、備品購入単価の決定方法、岩間海洋センター敷地の賃借料の内容、繰越予算の内容など。

【国民健康保険特別会計】

国保税の収納率と滞納整理の現状など。

【介護保険特別会計】

介護サービス給付費の不均衡が多い理由など。

【公共下水道事業特別会計】

基金からの繰入れによる借入金削減の検討など。

【水道事業会計】

資金運用、未収金対策、未払金の内容、延滞金徴収の有無、修繕費の額が多い理由など。

【市立病院事業会計】

一般会計からの出資金など。

●委員会の意見について

3日間にわたり活発な質

疑応答が交わされ、各会計全般について、資金の適切な運用、基金の有効活用による起債の抑制や高金利債の繰上げ償還、負担の公平を図るための延滞金の徴収など適正な財政運営に努めることが大切であるとの意見が、委員会から出されました。

●採決について

認定第1号、平成19年度笠間市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定についてから認定第6号、平成19年度笠間市立病院事業会計決算認定についてまでの6件は全会一致をもって原案のとおり認定すべきものと決定しました。

決算特別委員会メンバー(8名)

- 委員長：海老澤 勝男
- 副委員長：西山 猛
- 委員：石田 安夫、野口 圓、藤枝 浩、鈴木 裕士、上野 登、竹江 浩